

■ 施工手順

1. 下地状態の確認

- ① 合板同士の目違いは、サンダー等で削り、平滑にする。
- ② タワミが大きいときは、釘を追加し固定する。
釘頭等の突起はハンマーで叩く。

2. 清掃

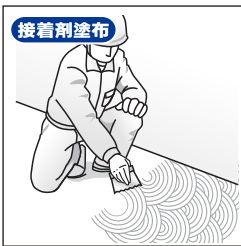
- ① 湿潤ノコ屑を撒き散らし、箒で掃き取って異物を取り除く。

3. パテ

- ① 「アースタック」で合板の目地部、凹み、釘頭部等を埋め平滑にし、完全に硬化・乾燥させる。

4. 床材の張り付け

- ① 床材、施工環境、使用状況などを加味して適合する接着剤を選定する。
- ② 接着剤を下地に塗布し、所定のオープンタイムをとる。
- ③ 床材を張り付け、圧着可能時間内にローラー等を掛け、床材と接着剤を十分に馴染ませる。
- ④ 床材張り付け後、24時間程度は極力人通りを避けると共に、1週間程度は直射日光や急激な空調の使用などを避け、換気をよくして養生する。



※備考

- (1) 床材及び接着剤は、極力前日までに搬入し、施工環境に慣らしておいてください。
- (2) ビニル床シートなどを施工する場合は、施工に先立ち、巻癖、伸縮を取り除くため、仮敷きを行ってください。タイル系の床材は、反りなどが生じないよう、平滑な場所で保管してください。
- (3) 冬季低温時（5℃以下）の施工は、ジェットヒーターで採暖を取るなどして施工を行ってください。
- (4) 乾燥モルタル下地などより吸い込みが遅いため、接着剤塗布後のオープンタイムや養生期間は、長めにとるようにしてください。
- (5) 施工後、急激な温度変化が生じると、床材が伸縮し、目透きや突き上がり、反りが発生し易いのでご注意ください。
- (6) 床材張り付け後、床材に適した継ぎ目処理などを行ってください。

■ 注意事項

- ① 合板に使用される防虫剤や防腐剤によっては、床材を変色させるものがありますのでご注意ください。また、合板裏面の根太等に塗布された防腐剤や防虫剤が合板の目地部や釘打ち部からしみ出して、床材を変色させることがありますのでご注意ください。
- ② 通常コンクリート面より吸水性が少ないので、十分なオープンタイムを取ってください。
- ③ 溶剤系製品を使用する際は、火気・換気に十分注意してください。
- ④ 「アースタック」は、高い剛性を持った床用パテですが、極端に下地が動いた場合や、大きな衝撃が加わった場合、パテが割れることがありますので、ご注意ください。
- ⑤ 床材の種類によっては、接着しにくいものもありますので、事前に試験施工して確認された上で本施工を行ってください。
- ⑥ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項などを必ずお読みいただき、十分にご理解頂いた上でご使用ください。尚、製品の取り扱いに関する詳細が必要な場合は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■ 使用商品（施工㎡数）

● アースタック



商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
293-701	5kg(X4)	5㎡/5kg (1mm厚)